

生き活きだより

東海旅客鉄道労働組合退職者連絡会（JR東海ユニオンOB会）

発行責任者 坂間 晴二



JR東海ユニオンOB会
会長 坂間 晴二

新年の御挨拶



© dak

新年あけましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様におかれましてはよき新春を迎えたこととお慶び申し上げます。

ユニオンOB会は「高齢者が安心して生活できる社会」を目指して活動していますが、その目的のためには政治と無関係ではられません。消費税の10%への増税、年金支給額の削減、高齢者の医療費の増額と高齢者の社会保障はますます厳しいものとなってきています。一方安倍一強政治は、戦争放棄を定めた憲法を戦争のできる憲法に改悪を来年にも施行しようと改憲論議を強めています。世論調査では「憲法9条」を改憲する必要がない平和憲法を守ろうと意思表示している国民が過半数を上回っています。来る衆議院選挙では、日本の将来のために平和憲法を守り、幼児から高齢者までの社会保障を守るために、安倍政権にノーを突きつけようではありませんか。

昨今、温暖化の影響で大型の自然災害が猛威を振るっています。昨年も台風15号では多くの家の倒壊を招いた強風が千葉県を襲い、台風19号では、大雨による河川の氾濫による家屋の流出や1階天井まで達するかの浸水や土砂崩れ等が多くの国民生活に影響を与えました。私達には交運共済という共に助け合う共済機関があります。被害にあわれた仲間が一刻も早く再建への出発が出来るように「火災共済」並びに「地震風水害」の加入促進を中心とした仲間を守る活動を充実・強化していきたいものだと思います。

私たちユニオンOB会は、地域活動の充実を活動の基本においています、多くの皆様が活動に関わり参加することにより仲間の絆は深まり、そして語り合い・助け合い・私たち高齢者の充実した生活、子供や孫の明るい未来に向かって邁進しています。

今後5年先には年齢断層による新規加入者の激減や、退職年齢の延長により会費収入の激減期を迎えます。現在の会費6000円は退職年齢60歳から15年間の会報発送代として活用していますが郵送代や諸物価の値上げ等、財政問題も重要な課題です。しっかり先を見据えた検討をしなければなりません。

今後もJR東海ユニオンの仲間との連携をもって各種活動を推進し、JR連合、JR東海ユニオンとの更なる連携強化をした中で、諸情勢を反映した活動に取り組んでいきたいとも思っています。

大いに語りましょう！健康に留意して元気に行動し、老人パワーをもって社会に貢献に寄与し、より安定した生活を営もうではありませんか。

会員・ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして新年のご挨拶と致します。

本年も各地区の活動を全員参加で取り組みましょう



新年の御挨拶

J R 東海ユニオン
中央執行委員長 鎌田 茂

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たち J R 東海ユニオンは結成以来、継続して中長期目標を明確に定め、一つひとつの運動を確実に実践する中で、全ての J R 東海ユニオン組合員が積極的に参画する運動を目指して来ました。その運動の積み重ねの結果として、J R 東海ユニオンの運動の中核をなす全職場総対話行動については、昨年、秋の全職場総対話行動では、過去最高の 60% を超える組合員の参加を得ました。全機関を挙げて機関役員が徹底した声掛けや開催方法に創意工夫を凝らすなど、参加率向上に精力的に取り組んだ結果であり、まさに中期目標「UNION FUTURE ⇒ 2027」で目指す「みんなでアクション運動」を大きく前進させることができました。諸先輩方が築きあげた「世話役活動」を原点として、役員と組合員とのコミュニケーションが確実に強化され、組合員主体の運動が着実に若きリーダーに継承されている査証であると思っています。

さて昨年は、J R 東海発足以来、昭和、平成と時代は推移し、令和の時代の幕が開けました。J R 東海ユニオンにおいても、将来を見据えて定年年齢の延長に取り組み、65 歳定年制を確立しました。対象者は昭和 44 年 4 月 2 日生まれ以降の者が対象となりますが、「定年の延長」以外にも、「諸手当の改正」、「専任社員の基本給増額」、「通勤手当の認定基準の見直し」、「表彰制度の改正」、「住宅支援制度の改正」等、長年の懸案事項も含めてユニオンの要望が実現する形で大きく前進が図られました。しかし、一方でモニター通勤制度が終了することによる課題も浮き彫りとなりましたが、一部制度の拡充にも取り組んできました。決して現状に甘んずることなく、挑戦し続けなくてはならないと思っています。本年も諸先輩方の御指導を頂きながら J R 東海ユニオン運動に邁進いたす所存です。

近年自然災害が当たり前の様に連続発生しています。千葉県に甚大な被害をもたらした台風 15 号、関東、及び東北地方などで多くの河川の氾濫を招いた台風 19 号、強風による家屋の倒壊、河川の氾濫による家屋流失や浸水、土砂崩れ、更には大規模な停電、断水と長期間にわたって市民生活に甚大な被害をもたらしました。

私たち鉄道に従事する者の使命は、安全を第一に組合員の身を守り、輸送を守り、更には安全・安心な社会を構築することにあると考えており、私たち自身が危機管理に対する認識をさらに高める必要性を強く感じているところです。

今年も、決め合ったことを全ての組合員が実践し、今日まで築き上げてきた運動に更に磨きをかけ、組合員・家族の幸せの実現をめざして、J R 東海ユニオン運動を前進・飛躍させるべく取り組みを進めたいと思います。

結びに 2020 年が、退職者連絡会の皆さんにとって、素晴らしい年となるよう、また、健康に、元気に、そして、楽しくご活躍されることを祈念申し上げます。

謹 賀 新 年



交 運 共 済 東 海 事 業 本 部
事 業 本 部 長 菅 沼 恒 夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、交運共済東海事業本部の事業促進活動に対しまして、絶大なるご理解・ご協力を頂きました事に改めて御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと数多くの自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしました。東海事業本部内では、台風15号と台風19号による被害が多数見受けられました。被災された組合員様には、心からお見舞い申し上げます。

この様な背景をもとに組合員様の自然災害に対する関心が高まった一年でもありました。いざと言うときの保障の充実に向け、本年も「火災共済」並びに「地震風水害共済」の加入促進に取り組んで参りたいと考えております。

私たち職域共済の責務は、皆様の生活をしっかりとサポートし、暮らしに安心を与えることです。たとえどの様な大規模災害が発生しても、皆様に安心を提供できる「持続可能な職域共済」でなければなりません。

そこで大事なことは、安定した運営基盤の確立であります。そのためには、今年度の第117回通常総代会において提起された新経営計画「2021・3ヵ年改革ビジョン」の実現に向けて、事業展開を繰り広げていく事が大切だと考えております。このビジョンの目指すところは、各種共済の新規契約と増口契約の拡大を目指し、安定した経営基盤を確立し、組合員の皆様に「安心」と「信頼」を提供する事にあります。

私たち交運共済東海事業本部職員一同は、皆様方のご協力を仰ぎながら、この新経営計画「2021・3ヵ年改革ビジョン」に則った事業展開を精力的に推進して行きたいと考えております。

最後になりますが、この新しい年が組合員様とご家族の皆様方にとって、より良き年となりますように祈念し、交運共済東海事業本部を代表し、新年のご挨拶とさせていただきます。

交運共済 相互共済

**家族を守るのは、あなた。
あなたを助けるのは
共済です。**

火事、交通事故、病気…などの人災。
地震、台風、風水害…などの天災。
どちらも、家族の幸せにボツカリと穴をあけてしまいます。
家族の笑顔を守るために共済をご利用ください。

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JF職域共済)
全国交通共済連合会加盟 全国交通安全協会加盟

家族の幸せを災害から守る
**火災共済/地震風水害共済/
交通災害共済/生命共済/入院共済**

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。
昨年の総会から副会長の大役を仰せつかっております関西地区の黒川です。

皆様には、日頃から退職者連絡会の活動に多大なるご協力を頂きまして、厚く御礼を申し上げますと共に、本年も相変わりがせずよろしくお願い申し上げます。

さて、今年財務省が後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担を共に2割に引き上げ、要介護1、2の生活援助を介護保険から切り離すなどとした法改正を行おうとしています。私達退職者連絡会は運動方針の一つとして高齢者福祉の充実と、老後の生活の安定を図る活動を展開しております。その方針に沿ってこれからも、JR連合・JR東海ユニオンとの連携を深め、そのご指導のもと我々の生活を守り不安をなくする活動を推進し、法改悪阻止に向けた運動が必要であります。

より健康的で楽しいOB会活動を展開するため、皆様の絶大なるご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 黒川 澄雄



副会長 榎本 碩哉

新年あけましておめでとうございます。新たな年を迎えて健康で昨年度に増して良い年としたいと願っております。

しかし、体の変調、足腰の痛みは勿論、昨今の地球・社会の環境の変化が気がかりでなりません。

温暖化による日本列島での度重なる災害やイタリア・ベネチアがアドリア海に沈んでしまうのでは・・・地球が壊れる。孫娘と重なる高校生のグレタ・トゥーンベリさんは地球温暖化について国連で怒りのスピーチ。政府は急場しのぎに70歳、75歳をターゲットにあて

た施策を打ち出そうとしています。在職老齢年金制度の見直し、厚生年金加入年齢を70歳以上への引き上げ、医療費の自己負担割合などであります。

子供も成長し、孫に囲まれての日々の生活。このささやかな幸せがこの先残された子供や孫たちも享受できるのであろうか？そう思うと、もはや高齢者も傍観者であってはいけない。そんな覚悟で新年を挑みたいと思いますが、まずは「健康」か。皆様本年も仲良く元気によりしくお願い致します。

JR東海ユニオン組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は、昨年8月の「第14回定期総会」で、前任者大沼事務長の後任として事務長に就任しました、松葉孝三と申します。

OB会は、会員相互の「友好と交流」を主たる目的として、会員の定年後の安定した生活環境や豊かな人生の実現を目指して活動しております。

人生100年時代といわれていますが、平均寿命の80歳過ぎまでは、健康で過ごしていきたいと思っております。退職後の20年間以上を多くの仲間と接し、元気に楽しんで長生き出来るように共に頑張っていきたいと思っております。

また、最近頻繁に発生する自然災害に対する「備え」として、JR職域共済である「交運共済の火災・地震風水害共済等への加入」により、自らの財産を守っていくように、共済運動の輪を各組合員に展開して参りたいと思っております。



事務長 松葉 孝三



幹事 広脇 渉 三重地区本部長

あけましておめでとうございます。

異常気象や天災人災、悲喜こもごもで終えた令和元年も何とか明けて新しい年になりました。

ユニオンOB会の定期総会も順調に終え新しい体制で（と言っても三重地区本部はほとんど変わっていないのでありますが）、出発しました。

本部は、活動の拠点は地方に在りと、地区本部の活動に最大限の応援をするとの考え方をさせていただいております。

最近、情報の伝達を「生き活きだより」の一方通行で、行事への参加者も限られてきたような気がします。今年度からは各会員の生の声を聴きたいと情報に対する返信の機会を持ちたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

ユニオンOB会は、上下関係のない会員組織です。忌憚のないご意見をお寄せください。地区本部は、今年も様々な取り組みをしたいと思えます。久しぶりに昔の仲間の顔を見に来てください。



幹事 小縣 八郎 名古屋地区本部長

新年明けましておめでとうございます。会員・ご家族様のご健康をお祈り申し上げます。名古屋地区本部は、平成7年に70余名にて発足し本年では2,300余名の組織となりイベントを中心に活動を展開しています。

2025年問題まであと5年ですが、昭和22年～24年生まれの団塊世代の皆さんが後期高齢者時代を迎えます。800万人の人達が75歳に到達します。65歳以上に高齢者が総人口の28%で4分の1を超えています。介護費用・医療費が急激に増加すると試算されています。不安の出費にそなえ蓄えに励んでいるのが高齢者の実態です。不安を解消するのは、政治の役割だと考えます。

私達の立憲民主党・国民民主党を中心に頑張りたいと考えます。名古屋地区本部は、退職者連絡会本部、JR東海ユニオンの指導の下、平和で公正な社会を目指して活動を展開していきます。



幹事 沖山 松人 飯田地区本部長

あけましておめでとうございます。

令和元年10月20日駒ヶ根アルパにおいて、飯田地区本部13回定期総会で、平地会長の後任として受けることになりました。

飯田地区本部は、飯田線伊那谷に180名、中央線木曾谷に60名総勢240名で、長野県内の居住者で構成をされています。地理的に一同に集まることが困難なため、伊那谷地区を「上伊那」「飯田・下伊那」「木曾」の三地区に地区分けをして、幹事もそれぞれの地区から2名を選出、7名態勢で活動しています。活動としては、生き活きだより飯田版を年4回発行し会員に送付しております。総会のない年は、会員やその家族との親睦バス旅行を計画し、大変好評です。若い幹事も選出され「和」をもって活動し、役員継承を図っていきたいと思います。

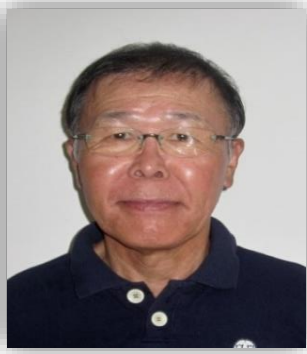


幹事 岡 孝治 関西地区本部長

令和初の新年明けましておめでとうございます。会員・ご家族の皆様、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年8月の「関西地区本部第14回総会」で前任者黒川会長の後任として就任しました岡と申します。

関西地区退職者連絡会は、皆で決めて、家族と一緒に参加することを目指して活動しています。

昨年は自然災害の発生で甚大な被害を各地にもたらしました。そんな中、明るいニュースもありました。特にラグビーワールドカップでの日本チームの活躍です。ラグビー精神の「ワンフォーオール・オールフォーワン」そして「ワンチーム」に込めた戦いに心をうたれました。前向きに人と人が力を合わせて一歩一歩進んでいく。退職者連絡会も同じです。「楽しい」「役に立つ」「会員で良かった」と言われるよう、組合員、家族の幸せ実現を目指します。



幹事 久保田康司静岡地区本部会長

新年を迎え、昨年8月に開催された「静岡地区本部第15回定期総会」において確認した幾つかの取り組みについて「どのように会員の皆さまに伝えれば一人ひとりの会員の皆さまがその取り組みを理解して参加してくれるのか」

そして「参加して良かった、と思ってもらえるのか」についての想いを新たにしています。

今、私たち高齢者を取り巻く環境は、年金、医療、そして介護、更に平和さえ何一つ楽観視できる状況にはありません。これらの課題に対して、私たち自身が声を上げ、「高齢者が安心して生活できる社会」を求めて取り組みを進めたいと考えています。その為にも出来る事を一つひとつ進めていく事が大切な事と肝に銘じながら微力を注ぎたいと考えています。

最後になりましたが、本年が、全ての会員の皆さま、そしてご家族の皆さまにとって良いお年でありますようにと願い、新年の挨拶とします。



幹事 大沼治雄関東地区本部会長

新年明けましておめでとうございます。会員、ご家族の皆様におかれましては良き新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、台風15号・19号と立て続けに関東地方を襲い、多くの犠牲者と家屋損壊を含め、多大な被害となり自然災害の恐ろしさを誰しもが感じ得た台風でもありました。

自然災害に対する対策について、ご家族でもう一度、話し合う機会をもつことも大事です。又、高齢になると家屋損壊に対する修繕費用も大きな問題となります。こんな時に役立つのが「交運共済の地震・風水害共済」であります。まだ加入されていない方は是非この際にご加入されますことをお勧めします。令和2年が会員の皆様にとって、実り多い年となりますことを祈念しまして、新春のご挨拶とします。本年もどうぞよろしくお願い致します。

新年の御挨拶（OB会担当）

新年あけましておめでとうございます。

J R 東海ユニオン退職者連絡会組合員及びご家族の皆さまには、新しい年を穏やかに迎えられた事と思います。年頭にあたりご挨拶を申し上げさせていただきます。

昨年の J R 東海ユニオン定期大会における役員交代に伴い、J R 東海ユニオン退職者連絡会担当を仰せつかりました、中央執行副委員長の尾内裕昭と申します。宜しくお願い致します。

旧年中も J R 東海ユニオンの諸活動に対して御理解と御協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

私たち J R 東海ユニオン現役世代は、先輩方に築き上げていただいた組織に有り難さを実感すると共に、将来にしっかりと引き継いでいかなければいけないと強く感じている次第です。

J R 東海ユニオン運動の中期目標も「ユニオンプラン」・「ユニオントライ」そして今日の「UNION FUTURE ⇒ 2027」と様変わりはしたものの、先輩方が築いてきて頂いた組合民主主義に基づく労働運動の精神は何ら変わっておりません。全員参画の運動を引き続き実践し、将来に亘って会社の発展と組合員・ご家族の幸せ実現を目指していきたくと思います。

今後も J R 東海ユニオン退職者連絡会の先輩方には、お体に十分気をつけられて、現役世代へのご指導を賜っていきたくと存じます。宜しくお願い申し上げます。

J R 東海ユニオン
中央執行副委員長 尾内 裕昭